

令和8年5月25日



学校だより 6月号



横浜市立市場小学校 Tel (581)2107 FAX(581)9387

けやき分校 Tel (580)0105 FAX(580)0135

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ichiba/>

スタートカリキュラムで^{そだ}育つ^{ねんせい}1年生

副校長 永野 理英子

新学期が始まり2か月が過ぎようとしています。1年生は入学当初の緊張した表情が和らぎ、安心して学校生活を送れるようになってきた様子がうかがえます。

4月から5月にかけて、市場小学校の1年生は「スタートカリキュラム」を行いました。これは、幼稚園や保育園での遊びを通した総合的な学びを、小学校以降の教科等を通した学びへ円滑に接続するための取組として、全市的に行っているものです。

「なかよしタイム」は、安心して学校生活を始められるように工夫された時間です。今年の1年生は、4クラスの全員が校庭に出て遊ぶ時間をとりました。小学校生活を楽しみにしているように見える子どもであっても、初めてのことに不安や緊張が伴います。校庭で自分がやりたいことを見付け、体を動かして誰かと一緒に遊ぶことを通して、心と体が解放されていきます。自然と友達との関わりも増えていきます。広い校庭を元気に走って鬼ごっこをする子ども。遊具の高いところに上って嬉しそうな顔をしている子ども。先生や友達と笑顔で関わっている子ども。この時間の校庭は、子どもらしい生き生きした姿と楽しそうな声にあふれていました。担任は、子どもたちを見守り、時には一緒に遊びながら、子どもたちの個性、好きなことや得意なことなどを捉え、一人ひとりへの理解を深めていくことができます。

「わくわくタイム」は、生活科を中心とした合科的な学習をする時間です。「学校たんけん」は、1年生一人ひとりが、自分が行きたい場所、見たい場所へ行くとこから始まりました。職員室にも、「入っていいですか？」と何人もの1年生が尋ねてきました。「どうぞ。何を見たいですか？」と聞くと、「誰がいますか？」「隣の部屋はなあに？」と興味津々な子どももいれば、職員室全体をよく見て満足そうに帰っていく子どももいました。教室に戻ってからは、見付けたこと、不思議に思うことや解決したいこと、もっと見たいことなどを伝えあう時間をとります。こうして、問題解決的な学びが展開していくことになります。「自分の考えをもつ」力や「課題を見付けて解決する」力を身に付けていくための大きな一歩となります。この後の栽培活動でも、「きれいな花を咲かせたい」「花に合う植木鉢はどんな大きさかな」「どうやって育てるんだろう」と、自分の思いや願いを実現するために、調べたり聞いたりしながら自分で考え解決していきます。



現在は、「なかよしタイム」の時間を少なくし、「ぐんぐんタイム」である教科の学習が中心になっています。スタートカリキュラムを通して入学当初に育まれた力が多くの場面で発揮され、さらに成長していく姿が楽しみです。